

# 石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

石巻専修大学  
広報係  
☎986-8580  
宮城県石巻市  
南境新水戸1番地  
☎0225-22-7717(直)

2018年4月  
創立30年を  
迎え  
ます

## 高大産連携プロジェクト

### 石巻市内高校と連携

### システム開発へ



石巻専修大学はPepper社会貢献プログラムに参加しています

二つのプロジェクトに取り組む佐々木研究室と石巻工業高校のメンバー



I T企業の方から話を聞く石巻市立桜坂高校の生徒と舛井ゼミ生

「まちなかの防災」を考えたよう Pepperとデジタルマ ップを活用した地域復興 によるヒューマンイン ターフェイスの活用	理工情報電子工学科 佐々木慶文准教授	石巻工業高

石巻専修大学は、地域  
を支える人材の育成と地  
域活性化を目指す「高大  
産(高校・大学・産業)  
連携プロジェクト」を2  
016年度から推進して  
いる。今年度は六つのフ  
ロジェクトを展開。うち  
五つはソフトバンクが本  
格化した。

理工学部の佐々木慶文  
研究室は、石巻工業高校  
と二つのプロジェクトに  
取り組む。一つは複数の  
Pepperが連動して  
会話するシステムの開  
発、もう一つはPepp  
erが復興や観光の情報  
を案内するシステ  
ムの開発だ。合同  
ミーティングでは  
佐々木研究室の学  
生が高校生たちと  
システム開発に向  
けた意見交換を行  
った。同高は8月  
3、4日に仙台市  
の仙台国際センタ  
1で開かれる全国

主に技術面で支援する。  
経営学部の舛井道晴ゼ  
ミと石巻市立桜坂高校  
は、同高が昨年度取り組  
んだ「まちなかのポスタ  
ープロジェクト」をPepp  
erの活用で発展させ  
ようと意気込む。石巻の  
魅力を効果的にPRする  
にはどんな情報を発信し  
たらいいのかアイデアを  
出し合い、第一歩として  
「石巻魚市場と海産物を  
紹介するアプリを作る」  
ことを決めた。舛井准教  
授とゼミ生が作成したP  
epperのプログラムミ  
ングの実演では、好きな  
言葉をしやべらせるプロ  
グラミングに高校生が挑  
むなど、今後の活動に向  
けて手応えをつかんだ。

◇  
ほかに、理工学部坂田  
隆研究室と経営学部杉田  
博ゼミが宮城水産高校、  
石巻北高校、葉天野球  
団、阿部蒲鉾店と協力  
し、米粉を練り込んだか  
まぼこ「こめぼこ」の商  
品化に取り組んでいる。  
商品発表会(7月21

女子競走部が第3回い  
しのまき復興マラソン  
(6月18日、石巻市)、  
第39回北日本学生陸上競  
技対抗選手権大会(北日  
本インカレ、7月1〜3  
日、福島県福島市)の2  
大会で活躍した。

約1500人の市民ラ  
ンナーが出場した、いし  
のまき復興マラソンは3  
種目に8人がエントリー  
1。ハーフマラソン(女

## 快走続く女子競走部

ハーフマラソンの原田  
さんは2位に約9分差を  
つけ、1時間22分35秒で  
ゴール。目標の18分台に  
は届かなかったが「沿道  
の方や市民ランナーの温  
かい声援が力になった」  
と話した。

部員たちは北日本イン  
カレでも快走。5000  
人で穴戸菜由さん(経営  
1・静岡岡加藤学園高)、  
1万7千で千葉悠里奈さ

日、仙台市・Kobob  
パーク宮城で、8月  
11〜13日に石巻市民球場  
で一般販売される。

よる講義やグループワ  
ークなどを通して、読む  
書く、発想する、発表す  
る「力」を養っている。  
全学科共通の取り組み  
のほか、各学科での主体  
的な学びに向け、生物科  
学科はコンピュータを用  
いたデータ整理、機械  
工学科は数学、人間教育  
学科は保育・教育環境の  
調査などが設けられてい  
る。

6月に行われた経営学  
科の講義では、「情報を  
集める」をテーマに学内  
で働く人にインタビュー  
を行った。学生たちは講  
義で学んだことを生かし  
ながら職員らを取材。聞  
き取った情報をグループ  
で共有し、資料にまとめ  
てプレゼンテーションを  
行った。経営学科では今  
後も「大学生活のゴール  
を考える」などをテーマ  
に多彩なワークショップ  
や講義が行われる。

17分14秒で自己ベスト  
を22秒更新した穴戸さん  
は「上位はうれしいが、全  
国で通用する走りではな  
く、満足していない」。35  
分21秒で同じく自己ベス  
トを更新した千葉さんは  
「早い展開についていき  
べストを1分上回ること  
ができたが、優勝できず  
悔しい」と振り返った。

9月には全日本大学女  
子駅伝対校選手権大会東  
北地区代表選考会が控え  
る。1位通過を目標に、  
部員たちは練習に励む。

就活体験  
リアルに

就職活動中の4年次生  
が自らの体験を後輩に伝  
える「就職活動リアル体  
験談」が6月29日、森口  
記念館で開かれた。内々  
定を得ている5人が登壇  
し、寄せられた質問に答  
えた。写真。

登壇者は内海悠介さん  
(理工・宮城県仙台高)、  
阿部航平さん(理工・岩  
手県宮古高)、佐藤輔さ  
ん(理工・秋田県大曲  
高)、阿部百花さん(経  
営・石巻市立桜坂高)、  
千葉英恵さん(人間・宮  
城県古川黎明高)。

質問は、インターシ  
ップ、業界・企業・職種研  
究の進め方、面接や筆記  
試験など多岐にわたり、  
出席した3年次生128  
人は、メモを取りながら  
アドバイスを聞いた。

「インターシップの必  
要性などを聞き、参考に  
なった(理工)」「不安は  
多いが、先輩の話で勇気  
づけられた(経営)」な  
どの感想が寄せられた。



25日には専大北上高校(岩手県北上市)の3年  
生19人が来学し、高大接続研究事業特別講義の一  
環として山崎泰史経営学部教授の講義を受講し  
た。講義後は当日行われていたオープンキャンパ  
スにも参加し、大学への理解を深めた。

オープンキャンパスは7月23日(日)、8月6  
日(日)、27日(日)にも開催。大学説明会や研  
究室公開、キャンパスツアーなどを通して、石巻  
専修大学を体感する絶好の機会となる。

自動車技術会から  
特別表彰

石巻専修大学と理工学  
部の島田了八教授、山本  
左から、島田教授、尾池守  
学長、川島純一教授、山本  
教授は6月25日、学長室で

表彰は同会の発展に功  
績のあった団体・個人を  
顕彰するもの。本学は東  
北の大学で唯一、支部の  
事務局を担当していたこ  
とや、機械工学科の学生  
が多数会員となり、社会  
貢献を含む事業に積極的  
に協力していることなど、  
長年にわたる活動が  
評価された。

島田教授は地区担当理  
事(支部長)や本部理事  
を、山本教授は事務局  
長、支部理事などの要職  
を歴任。これまでの貢献  
に対し、盾や賞状が授与  
された。

開放講座始まる

「やわらかな生き方」  
こころの旅」を統一テ  
ーマとした「平成29年度  
みやぎ県民大学 石巻専  
修大学開放講座」(7月  
20日まで、全4回)が6  
月29日から開講され、毎  
回多くの市民らが聴講に  
訪れている。

初回は37人が出席し、  
丸岡泰経営学部教授が  
「ソフト・パワーと観光」  
と題して講演。日本のソ  
フト・パワー(他国を味  
方につける力)となる能  
や歌舞伎、和食、漫画と  
いった文化や地域産業な  
どを地域活性化に生かす  
ことが大切だと論じた。

第2回(7月6日)は  
根本智行理工学部教授が  
生物の多様性について、  
第3回は佐藤正恵人間学  
部教授がポジティブ心理  
学をテーマに講演した。

第4回(7月20日)の  
大津幸一人間学部教授の  
講義を含め、3回以上受  
講した参加者に修了証が  
授与される。



いしのまき復興マラソンの5\*で  
表彰台を独占した5人